

ksc  
**U S P**  
compact



# 取扱説明書

operator's  
manual

< 対象年齢18歳以上 >

○ 正使用になる前に必ず最後までお読みください

**警告** 失明などの重大なケガのおそれがあり危険です!

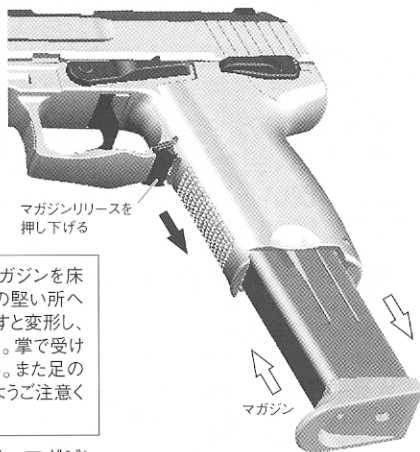
誤った取り扱い・不注意な発射は、暴発・跳弾・銃の破損につながり、ケガ・物品破損・事故を招く恐れがあります。以上の事を未然に防ぐために、付属の取扱説明書や警告カード（銃本体に付属）等を最後まで良く読み、正しい使用方法・注意事項・マナーを十分に理解したうえで、安全に当製品をお使いください。

FP 112360

# 操作 I

## 1 【ガスの注入】

1. マガジンリリースを押し下げ、マガジンを抜いてください。抜いたらマガジンが温まりすぎていないことを確認します(温まりすぎているとガス充てんが十分に行なえません。次ページを参照し状況改善を行なってください)。



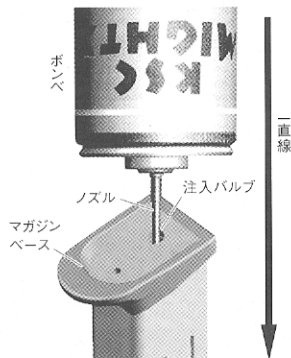
### 注意

●マガジンを床などの堅い所へ落とすと変形、銃の不調につながります。掌で受け止めるようにしてください。また足の上に落してケガをしないようご注意ください

2. マガジンを逆さに持ち、マガジン底部の注入バルブにKSCマイティポンベのノズルを差し込んで、ポンベを軽く押し下げてください。この時、ポンベとマガジンが垂直方向に一直線になるようにするのがコツです。うまく注入できているときはシューという音がします。

### 注意

●ポンベを押し下げたとたんに液状ガスが注入バルブ周辺から吹き出す場合は、ポンベとマガジンの注入バルブが一直線になっていない時ですので、微妙に角度を修正して正常に注入できる位置をさがしてください



凍傷の恐れあり。  
液状ガスに注意!

3. 正常な注入後、満タンになったら液状ガスがふきだしますので注入を終了してください。しばらく放置しマガジンが常温(触ってみて熱さや冷たさを感じない程度)に戻ってから使用します。(マガジンが冷えていると正常に作動しません。)

KSCマイティポンベ500  
¥1,300(500g入り)  
(フロンHFC134a)

### 警告

#### 《ガスポンベ使用上の注意》

●KSCマイティポンベ以外は使用しないでください。特に高压ガス等は故障の原因となるばかりでなく、破損・破裂といった危険につながることも予想されますので、絶対に使わないでください。また、指定以外のものはポンベの口金が合わず注入できないこともあります ●ガス圧を故意に上げるために暖房器具・熱湯等で加温することは絶対にしないでください。破裂の恐れがあり危険です ●注入時に液状ガスが身体や衣類につかないよう注意してください。気化冷却のため凍傷になる危険があります ●その他、マイティポンベに記されている注意内容も守ってお使いください ●上記の注意を守らずに使用して発生した故障や事故については当社は一切の責任を負えません



破裂注意 40℃以上厳禁 火に近づけない 熱湯で温めない 日光に当てない 車中放置禁止

### 警告

#### 《リキッドチャージマガジン使用上の注意》

●リキッドチャージシステムのマガジンは、ガスを注入した直後、マガジン内が非常に冷却されます。そのため、ガス室の内圧が下がり、エアノズルの穴より微量のガスが漏れることがありますが、常温になると正常に戻ります。このガス漏れは、非常に微量ですので、使用上全く問題はありません ●発射時にガスを放出する際、マガジンの油分が飛ばされてしまうので、常にオイルを補充し、ベストの状態でご使用ください。(メインティ

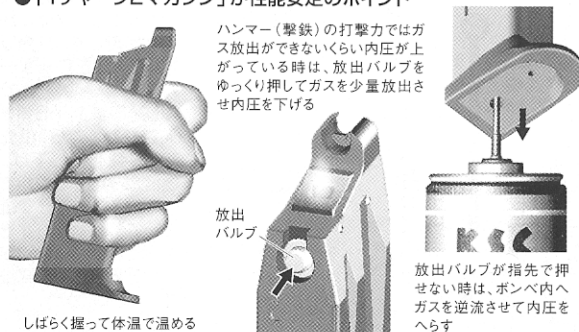
ナンスの項参照) ●周辺温度が20℃以下の場合(冬期など)や連続発射をした時は、ガス圧が下がり、作動が鈍くなる場合があります。これは故障ではありませんから、室温などで常温に戻せば調子は回復します。決してマガジンやポンペを故意に温めないでください ●ガスが入っているマガジンを、直射日光の当る所や火気の近くなど、温度の高くなる場所に置かないでください。故障の原因となる場合もありますので、使用しないときは、マガジンからガスを全部抜いて空にしておいてください ●注入するガスは、KSC純正の“マイティポンペ”と表示されたものをご使用ください。他の種類のガスをご使用になると、故障の原因となるばかりでなく危険です。絶対に使用しないでください ●リキッドチャージシステムは、マガジンやポンペが低温になっていてもガスチャージできます。絶対に缶を温めないでください ●マガジンをむやみに分解すると故障の原因となります。また危険ですので絶対にしないでください ●マガジンはかなりの重さを持っていますので、落下させた場合、ケガや破損の原因となります。掌で受け止めてお使いください ●使用しない時は、マガジンからガスを全部抜いて空にしておいてください。常に圧力がかかった状態ですと、ゴム類等、内部部品の負担が増し劣化を早めることとなります ●ガスを放出させる際は、気化冷却のために非常に低温となりますので、ガスが手や顔にかからないようご注意ください

## 注意 《マガジン性能安定のポイント》

KSCのガスブローバックガンは、生ガス(液状ガス)を吹きながらも正常な作動・弾道が得られるよう設計されていますが、極端に冷えずぎた場合、ブローバック作動時に送弾せずBB弾が飛ばないことがあります。このような時やガス注入時にマガジンの冷えが確認された場合は注入後に掌でしばらく握っているか、室温など20~30℃のところではしばらく放置して常温(=マガジンを触ってみて冷たくも熱くもない)状態にしてください(放置しておく際は子供の手の届かないところで行ないましょう)。また、逆に直射日光等が原因で温まりすぎてしまった場合ですが、状況によって改善策が多少異なります。①ガスが満タン(またはそれに近い状態)で温まりすぎた場合——異常な内圧の上昇により放出バルブの“はりつき現象”が起き、ハンマーの打撃力だけでは放出(=発射)できないことがあります。このような時は放出バルブを押し、ガスを少量放出して内圧を下げてください。この時、放出量が多いと全弾撃ちつくすだけのガスが残らないことでもありますので注意しましょう。放出バルブが押せないほど圧力が高くなった時は、図のようにポンペを下にして注入時と同じ要領でマガジンを押しつけると、相方の内圧が同じになるまでガスが逆流し圧力の低下が得られます。こうすると放出バルブを押せるようになりますが、この場合、全弾分のガス量が残っていないことがあり、さらにマガジンが温まったままですとガス補充も十分に

は行なえません。いったんマガジンからガスを放出し(気化冷却を利用してマガジン温度を下げ)改めてガス注入を行なってから使用してください。②当マガジンは通常60発以上分のガス量が蓄えられます。性能の安定を図り、残りのガスを有効に使う意味から2マガジン分位を撃つたびにガスチャージしてください。この時、マガジンが温まりすぎていることが大切です。残りのガスが入っている状態でマガジンが温まりすぎている場合、マガジン内圧がポンペ内圧より勝り、ガス補充のつもりで作業を行なってもマガジンからポンペへの逆流を招くだけで実際にはガス補充ができていなかったということもあえます。そんな時は放出バルブを押して残りガスをすべて放出したうえでガス注入を行なってください。③ガスが空の状態のマガジンが温まりすぎた場合——空とはいっても1気圧分の空気は入っています。これが熱により膨張し内圧が高まっているわけですので、ガス充てんが不十分にしか行なえないことがあります。空のマガジンでも放出バルブを押し外気圧(=大気圧)とマガジン内圧を同じくしてからガス注入を行なってください。④異常なほどマガジンが熱くなってしまった場合、ガス放出・ガス注入をくりかえし、気化冷却によってマガジン温度を常温(冷たくも熱くもない状態)にしてから使ってください。なお、この銃の場合、前述の放出バルブの開放は、放出バルブを押すことで行なえます。最後に以上の内容をまとめると以下の3項に集約することができます。

- 銃の性能を100%引き出すにはマガジンのノウハウを身につける
- 使用時はマガジン温度をつねに常温状態(20℃以上)でキープする
- 「1チャージ2マガジン」が性能安定のポイント



※寒冷期は気化が遅く圧力も低いいため、夏場より液状ガスが多く注入され気化スペースを狭くし、最初の数発は生ガスがでてしまう傾向が強まります。満タン注入後はガスを少量放出し、気化スペースを作ってください。

使用前

マナー

操作

ホップ

手入れ

分解

保管他

パーツ

アクセ

故障?

アフター

通販

実銃

# 操作 II

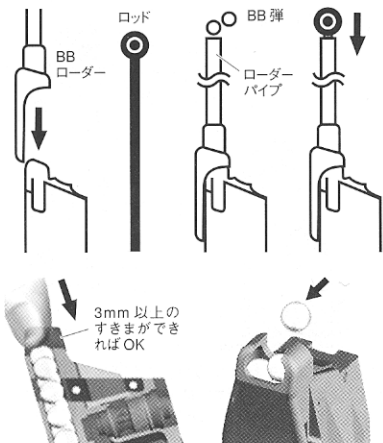
## 2 【BB弾の装てん】



**警告**

### 《BB弾使用上の注意》

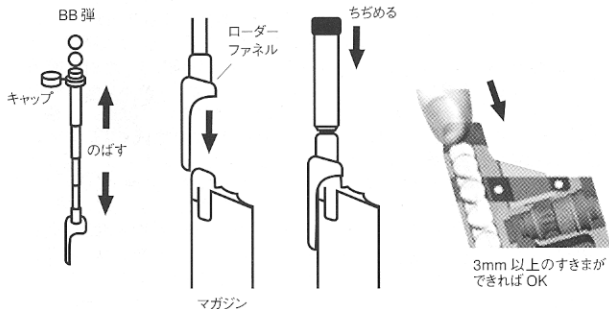
●KSC製エアガン(ガスガン含む)は、全機種KSC製BB弾に合わせた設計・調整が行なわれています。言い換えれば同BB弾使用時に最も高性能が発揮できるということにもなります。以上の理由から、BB弾は必ずKSC製をお使いください。指定外のBB弾、キズがあったり変形したBB弾、改造を施したBB弾は、性能を著しく低下させるばかりか、正常な発射ができなかったり様ざまな作動不良の要因ともなります。ご注意ください。(当社への修理依頼品のうち過半数は他社BB弾使用に起因するものです。また、そのうちの半数近くはKSC製BB弾に変えただけで正常作動してしまうというのが実状です。) ●KSC製以外のBB弾を使用して発生した故障や事故については、当社では一切の責任を負いません ●BB弾は使用後必ず回収してください。幼児が飲み込んで窒息したり、誤って踏んで転倒し大ケガをするなど、思わぬ事故につながる危険性があります。また、屋外で回収を怠ると、環境破壊にもつながります



ローダーを図のようにマガジンリップ部にかぶせ密着させ、21発以内のBB弾をローダーパイプに入れ、ロッドで押し込みます。BB弾を入れ終わったら、爪先でBB弾を押し下げ、3mm以上のすきまができていないことを必ず確認してください。すきまができない時は銃が破損しますので1発抜きとってください。

ローダーを使わずに1発ずつめる場合は真上からリップの間に押し込んでください。

●伸縮自在/携帯便利なニュータイプのローダー「EZ(イーズイー)ローダー(¥1,500)」も使用可能ですので、合わせて使用方法を紹介しておきます。(なお、EZローダーは、MK23、クーガー、M93Rなどダブルキャリアム/ダブルフィードタイプのピストル用マガジンすべてに使用できます。)



- ①ローダーをのばしてキャップを開け、BB弾を装てん(43発位入ります)し、キャップをかぶせます。
- ②ローダーファネルをマガジンにかぶせ、ガタつかないようにおさえます。
- ③キャップをかぶせたままローダーを押し縮めるとBB弾がマガジンに装てんされます。
- ④最後に、BB弾を爪先で押し、マガジン内部で3mm以上すきまができることを必ず確認してください。すきまができない時は、そのまま使うと銃が破損しますので、必ず1発抜き取ってください。(EZローダーは1回のチャージで29発まで装弾可能ですが、当モデルの場合はキャパシティが21発ですので8発余ることになります。またそれ以外にも、構造上、ローダー内に14発が常に残ります。)



**注意**

●指定数をこえるBB弾を無理につめこむと、破損の原因となりますのでご注意ください ●気温の変動等によりマガジン内の圧力が上がりすぎると、ハンマーの力ではガスを放出できなかったり、弾道が乱れる場合があります。そのような時は、BB弾を抜き、ガスを多少放出させ(7ページ参照)ガス圧を下げてからご使用ください



### 3 【マガジンの装着】

マガジンを銃本体に戻します。  
この時、マガジンリリースがカ  
チンと音をたててかかるのを  
確認し、念のため一度マガジン  
を下に引いて抜け落ちないこ  
とを確かめてください。



マガジン  
ベース

破損の原因になります。  
マガジンをおもいきりた  
たきこまないでください。

#### ⚠ 注意

●マガジンリリース  
の構造上、マガジン  
装着時に銃を握っ

た中指脇の肉を挟まないよう、また、銃  
本体とマガジンベースの間に掌を挟ま  
ないよう、ご注意ください ●万一、指  
定数をこえるBB弾がマガジンに装てん  
されている場合は、マガジンが正しく装  
着できません。無理をして装着しようと  
すると銃が破損します。このような時は  
けっして無理をせず、BB弾を減らしたう  
えで装着してください



トリガーフィンガー  
(引金を引く指)を  
トリガーガードの外  
へ出しておく

#### ⚠ 警告

●BB弾・  
ガス・マ  
ガジンが

銃に入っている場合、銃を持った時は常にトリガー  
ガード内に指を入れない習  
慣をつけましょう(射撃中は  
除く)。さらに銃口の向きに  
も常時注意しましょう

### 4 【初弾の送りこみ】



スライドをいっぱい引いて指をパッと  
はなすと、初弾がチェンバー(薬室)に送り  
こまれ、ハンマー(撃鉄)が起きた状態に  
なります。

操作手順のリアリティを再現するため、ス  
ライドを引く操作を行わないと作動しま  
せん。ドライファイア(空撃ち)時と同様で  
す。ご注意ください。

#### ⚠ 注意

●指をそえたりしてスライド前進を遅らせると送弾不良の  
原因になります。指をパッと離してください ●誤射・暴  
発を防ぐ意味で、射撃の直前まで薬室にBB弾を送りこま  
ないでください。

### リアルライブ オペレーション



実銃の場合、カート入り弾倉を装着し、スライドを引いて薬室に送弾する。これを行わなければトリガーを引いても空撃ちになるだけで発射できません。ところが従来のガスBLKガンは、送弾操作をしなくてもガスがマガジンに入っていればプロウバックしてしまいます。実銃ならありえません。そこで、外観のリアリティ、内部メカのリアリティ、とエアガンにも「リアルさ」を追求してきたKSCが求めた第3のリアリティが「操作のリアリティ」でした。実銃とおりの操作をしなければ動かない。ハンマーダウン時は暴発の危険性を受けハーフコックで止める。超の意味では不慣れな方式ですが、実銃と同じ操作、同じ配慮、同じ緊張をユーザーに要求した超上級者指向の構造と言えます。玩具としてではなく、あくまで実銃感覚で扱っていただきたい。そんな想いをこめて、あえて採用したのが「リアルライブオペレーション」なのです。

使用前

マナー

操作

ホップ

手入れ

分解

保管他

パーツ

アクセ

故障?

アフター

通販

実銃

# 操作 II

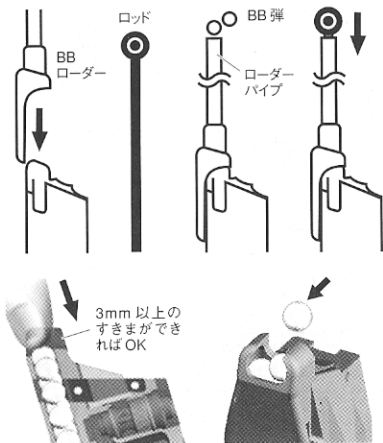
## 2 【BB弾の装てん】



**警告**

### 《BB弾使用上の注意》

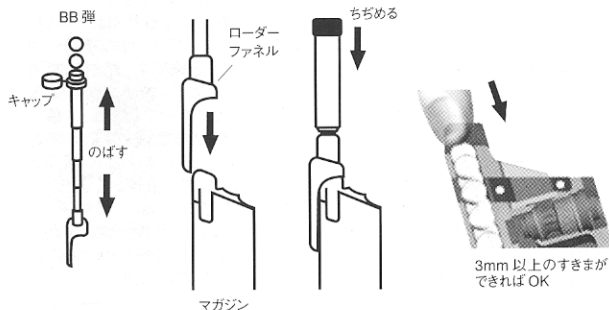
●KSC製エアガン(ガスガン含む)は、全機種KSC製BB弾に合わせた設計・調整が行なわれています。言い換えれば同BB弾使用時に最も高性能が発揮できるということにもなります。以上の理由から、BB弾は必ずKSC製をお使いください。指定外のBB弾、キズがあったり変形したBB弾、改造を施したBB弾は、性能を著しく低下させるばかりか、正常な発射ができなかったり様々な作動不良の要因ともなりえます。ご注意ください。(当社への修理依頼品のうち過半数は他社BB弾使用に起因するものです。また、そのうちの半数近くはKSC製BB弾に変えただけで正常作動してしまっているのが実状です。)  
 ●KSC製以外のBB弾を使用して発生した故障や事故については、当社では一切の責任を負えません ●BB弾は使用後必ず回収してください。幼児が飲み込んで窒息したり、誤って踏んで転倒し大ケガをするなど、思わぬ事故につながる危険性があります。また、屋外で回収を怠ると、環境破壊にもつながります



ローダーを図のようにマガジンリップ部にかぶせ密着させ、21発以内のBB弾をローダーパイプに入れ、ロッドで押し込みます。BB弾を入れ終わったら、爪先でBB弾を押し下げ、3mm以上のすきまができていないことを必ず確認してください。すきまができない時は銃が破損しますので1発抜きとってください。

ローダーを使わずに1発ずつめる場合は真上からリップの間に押し込んでください。

●伸縮自在/携帯便利なニュータイプのローダー「EZ(イージー)ローダー(¥1,500)」も使用可能ですので、合わせて使用方法を紹介しておきます。(なお、EZローダーは、MK23、クーガー、M93Rなどダブルカラム/ダブルフィードタイプのピストル用マガジンすべてに使用できます。)



- ①ローダーをのぼしてキャップを開け、BB弾を装てん(43発位入ります)し、キャップをかぶせます。
- ②ローダーファネルをマガジンにかぶせ、ガタつかないようにおさえます。
- ③キャップをかぶせたままローダーを押し縮めるとBB弾がマガジンに装てんされます。
- ④最後に、BB弾を爪先で押し、マガジン内部で3mm以上すきまができることを必ず確認してください。すきまができない時は、そのまま使うと銃が破損しますので、必ず1発抜き取ってください。(EZローダーは1回のチャージで29発まで装弾可能ですが、当モデルの場合はキャパシティが21発ですので8発余ることになります。またそれ以外にも、構造上、ローダー内に14発が常に残ります。)



**注意**

●指定数を超えるBB弾を無理につめこむと、破損の原因となりますのでご注意ください ●気温の変動等によりマガジン内の圧力が上がりすぎると、ハンマーの力ではガスを放出できなかったり、弾道が乱れる場合があります。そのような時は、BB弾を抜き、ガスを多少放出させ(7ページ参照)ガス圧を下げてからご使用ください

### 3 【マガジンの装着】

マガジンを銃本体に戻します。この時、マガジンリリースがカチンと音をたててかかるのを確認し、念のため一度マガジンを下に引いて抜け落ちないことを確かめてください。



マガジン  
ベース

破損の原因になります。マガジンをおもいきりたたきこまないでください。

#### ⚠ 注意

●マガジンリリースの構造上、マガジン装着時に銃を握った中指脇の肉を挟まないよう、また、銃本体とマガジンベースの間に掌を挟まないよう、ご注意ください ●万一、指定数をこえるBB弾がマガジンに装着されている場合は、マガジンが正しく装着できません。無理をして装着しようとすると銃が破損します。このような時は決して無理をせず、BB弾を減らしたうえで装着してください



トリガーフィンガー（引金を引く指）をトリガーガードの外へ出しておく

#### ⚠ 警告

●BB弾・ガス・マガジンが銃に入っている場合、銃を持った時は常にトリガーガード内に指を入れない習慣をつけましょう（射撃中は除く）。さらに銃口の向きにも常時注意しましょう

### 4 【初弾の送りこみ】



(ハンマー)

スライドをいっぱい引いて指をパッとはなすと、初弾がチェンバー（薬室）に送りこまれ、ハンマー（撃鉄）が起きた状態になります。操作手順のリアリティを再現したため、スライドを引く操作を行わないと作動しません。ドライファイア（空撃ち）時も同様です。ご注意ください。

#### ⚠ 注意

●指をそえたりしてスライド前進を遅らせると送弾不良の原因になります。指をパッと離してください ●誤射・暴発を防ぐ意味で、射撃の直前まで薬室にBB弾を送りこまないでください。

### リアルライヴ オペレーション



実銃の場合、カート入り弾倉を装着し、スライドを引いて薬室に送弾する。これをしなければトリガーを引いても空撃ちになるだけで発射できません。ところが従来のガスBLKガンは、送弾操作をしなくてもガスがマガジンに入っていればブロウバックしてしまいます。実銃ならありません。そこで、外観のリアリティ、内部メカのリアリティ、とエアガンにも「リアルさ」を追求してきたKSCが求めた第3のリアリティが「操作のリアリティ」でした。実銃どおりの操作をしなければ動かない。ハンマーダウン時は暴発の危険性を避けハーフコックで止める。ある意味では不慣れな方式ですが、実銃と同じ操作、同じ配慮、同じ緊張をユーザーに要求した超上級者指向の構造と言えます。玩具としてではなく、あくまで実銃感覚で扱っていただきたい。そんな想いをこめて、あえて採用したのが「リアルライヴオペレーション」なのです。

使用前

マナー

操作

ホップ

手入れ

分解

保管

他

パーツ

アクセ

故障?

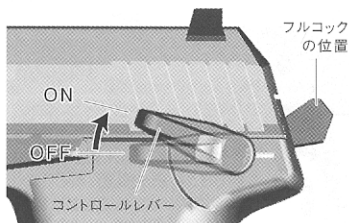
アフター

通販

実銃

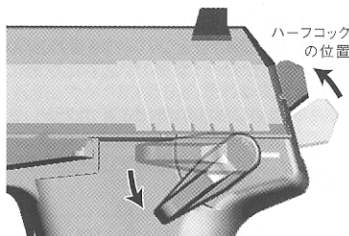
## 操作 III

### 5 【セフティ(安全装置)】



#### マニュアルセフティ

実銃どおり、ハンマーがどの位置にあっても、コントロールレバーを上にあげるとセフティがON、水平位置に戻すとOFF(発射可能状態)になります。



#### ハンマーデコッキング

ハンマーがフルコック位置にある時にコントロールレバーを水平位置より押し下げると、ハンマーはハンフコック位置まで倒れます。(これも安全装置の一種です。)

#### リアルライヴ デコッキング



コントロールレバーを押し下げるとハンマーのcockが解除され、ハンマーがハンフコック位置まで倒れます。ひとつのレバーで「cockアンドロック」のセフティとデコッキングレバーを兼用するタイプは、数ある実銃のなかでもずらしく、いかにもメカニズムのH&K社らしいUSPならではの構造といえます。その構造をKSCは実銃どおりにリアルに再現し、実現どおりにライブで機能するよう製作しました。



#### 警告

●コントロールレバーを操作する時は、不調や故障の場合を考え、万一暴発しても事故や器物破損がおきないように、銃口の向きに注意し、さらに跳弾しない配慮をしてください  
●セフティ操作中はトリガーに指をかけないでください。発射をする時以外は、つねに安全装置をかけておく習慣をつけるようにしましょう

### 6 【発射】

セフティをはずし、トリガーを引いてください。トリガーを引くたびにガス圧によるBB弾発射とスライド後退(ガスブローバック)が行なわれます。

★スベアマガジン(¥3,500)を活用すると  
いっそうシューティングが楽しめます。



★快調作動はマガジンの温度コントロールと1チャージ2マガジンがポイントです。

#### リアルライヴ ショートリコイル



スライドを引くと、銃身が数ミリ後退し排莖口に噛んでいた薬室外側上部が下降してロックが外れ、その後はスライドだけが後退を続けます。手動時だけではなくブローバック作動時にも瞬時に行われるこのショートリコイルメカの再現は、必ずしも目新しくはありません。しかしその大半は、インナーバレルを固定しアウターバレルのみを動かしてショートリコイルに見せかける外觀のみのタイプでした。実銃がバレルごとと動く以上、ガスBLKガンでも丸ごと動かしたい。その熱意とKSC独自のガスブローバックメカが、インナーごとアウターの動く真正正銘のショートリコイルを実現しました。分解して見比べてください。いかにリアルか、いかに見せかけではないライブな構造か、きつとご満足いただけることと思います。



使用前

マナー

操作

ホップ

手入れ

分解

保管他

パーツ

アクセ

故障?

アフター

通販

実銃



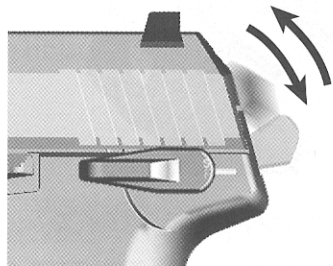
## 警告

●銃を横にしたり逆さにして撃たないでください。液状ガス(=生ガス)がそのまま出てしまいます。この状態のガスは気化冷却のため非常に冷たく、体に触れると凍傷になる可能性があります。さらに、銃内部の特にゴム部分を凍らせてしまう場合もあり、劣化をいちじるしく進行させます。ご注意ください



## 注意

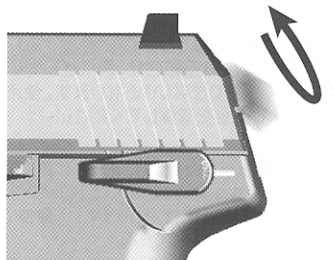
●銃後方にブロウバック時の排気を感じる場合があります。また、パワースourceとして使用しているガスの特性上、寒冷期やマガジンが冷えている場合は、作動不良が起こることもあります(6ページ“リキッドチャージマガジン使用上の注意”7ページ“マガジン性能安定のポイント”参照)。これらはいずれも故障ではありませんので、ご了承ください ●ガス残量が少なくなると、作動が悪くなり性能が安定しません。早めにガスを補充してください



発射の方法は次の2通りです。

### シングル アクション

ハンマーが起きている状態からトリガーを引いてハンマーをダウンさせ、発射させる方式



### ダブル アクション

ハンマーがダウンしている状態またはハーフコックの状態から、トリガーを引き絞ってゆく動きに連動してハンマーが起き上がり、ある位置で両者の連係がきれてハンマーがダウンし、発射させる方式



## 警告

### 《発射時の注意》

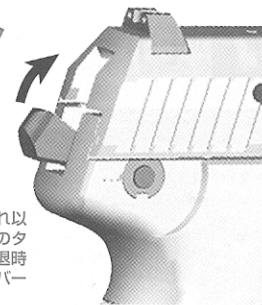
不注意な発射は失明やケガ等の危険があります。発射の際は跳弾にも十分注意し周囲の安全を必ず確認してください

●スライドが勢いよく後退します。顔を近づけないでください。また、跳弾や万一の破損による部品の飛散を想定して、シューティンググラスなどのアイプロテクション(目を保護するもの)を必ず着用し、肌を露出しない服装になるなどしてケガを未然に防ぐ方法をとってください ●倒れてくるハンマーで指などを挟まれないよう注意してください ●撃つ・撃たない、BB弾が薬室に入っている・入っていないにかかわらず、どんな時にも人・動物・ごわいやすいものに銃口を向けない、または銃口側に向かない(ない)ようにしてください ●同上の理由から、万一の暴発を考え、銃口をのぞきこまないでください ●BB弾の到達距離はその時の気温、風向に多分に左右されますので、より遠く、より広範囲にわたって十分な注意をはらってください ●イタズラに他人の物、公共の物を撃ったりすることは絶対しないでください。それは犯罪です ●発射する意志があり、かつ銃口が標的に向いている時以外は、絶対に引金に指を触れないでください ●射撃を楽しんでいる以外の人がいる時や屋外の場合は、近所迷惑・誤解のないよう十分注意してください ●壊れやすい物を標的にしたり、標的の周辺に置かないでください ●跳弾は思わぬ方向に飛ぶ可能性があります。可能な限り広範囲に注意をはらってください ●複数の人で射撃を楽しむ場合は、全員にアイプロテクションの着用を義務づけ、射撃前には他の人に発射することを伝え注意をうながしてください ●必要以上の空撃ち(ガスやBB弾を使わない射撃操作)は部品の摩耗・破損につながりますので、しないでください ●マガジンが銃に装着されている時、起きているハンマーを指でおさえながらトリガーを引いてゆっくりとハンマーを倒す操作は絶対しないでください。暴発し後退するスライドでケガをする危険があります

危険!!

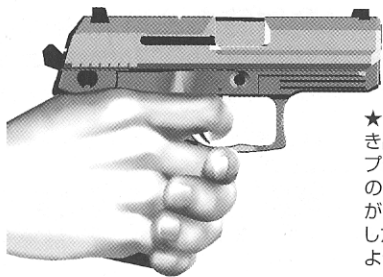


指でハン  
マーを戻  
すこと厳禁



(ハーフコック位置までなら可能ですが、それ以上はトリガーとハンマーのcockオフ操作のタイミングをまちがえると暴発し、スライド後退時にケガをする危険があります。コントロールレバーでの操作をお勧めします。)

# 操作 IV



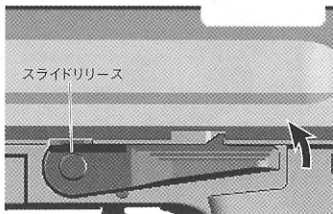
★性能どおりの命中精度を引き出すには、しっかりしたグリップホールドが不可欠です。図のようなツーハンドホールドが最も効果的。右手は突き出し左手は体の方へ引きつけるようにして握るのがコツです。



## ●良くないグリップホールド

◀左手親指の位置に注意！ちょっとでも親指が上へズレると、後退するスライドやハンマーでケガをする恐れがあり危険です。どのようなホールドの時でも親指のポジションには注意をはらってください。

## 7 【ホールドオープン】



全弾撃ちつくすとスライドリリースがかかり、スライドは後退位置で止まります。スライドリリースを下げるとスライドが前進し通常位置に戻ります。替えマガジンがある時は、オープン状態のまま空マガジンを抜き、替えマガジンを装着し、スライドを引くと初弾が送りこまれ再度発射準備完了です。

正しい操作方法を身につけて  
 快適なスポーツシューティングを楽しみましょう

## ！ 注意

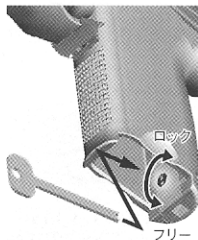
●スライド閉鎖時に指を挟まないよう注意してください。この時、トリガーに指がかかっていないことと、銃口の向きにも注意をはらってください ●寒冷期やガス切れ・連続発射等によるガス圧不足、メンテナンス不足、グリップホールドの甘さなどが原因となって、スライドリリースがかからない時がありますが、これは故障ではありません。該当する原因を改善すれば正常にもどります

## 8 【発射が終わったら】

マガジンを抜き、スライドを引いてチェンバー内に残弾がないことを確かめ、残弾がある時はスライドリリースをかけた状態で、銃口側からロッド状のもので押し出してください。



## ロックアウトデバイス



これも安全装置の一種です。子供や銃に詳しくない方が万一触っても暴発等がおきないように、銃の機能をフリーズさせる装置で、2つの穴がタデに並んでいるときはフリー（銃は作動する）、専用のキーで90度右回転させ、横に並んでいる時はロック（作動できない）となります。使用後は必ずかけて安全を確保してください。

## ！ 警告

●撃ち終わった時、撃つ意志がない時には、ただちに薬室からBB弾を抜き、決して入れたままにならないようにしてください（誤射・暴発へつながる可能性があります） ●使わない時はいつもロックアウトデバイスをかけておいてください

# ホップアップメカニズム

ホップ調整をマスターして  
銃の性能を最大限に引き出しましょう



## 【ホップアップの現状】

当製品には可変ホップアップメカニズムが標準装備になっています。このメカニズムは、発射時のBB弾に意図的に一定方向(上向き)の回転を与えることで揚力を生ませ、それにより、より遠くへ水平軌道のまま(あるいは多少の放物線を描かせて)到達させることを目的に開発されています。

一般的に言われているホップアップ機能の特徴は以下のとおりです。

●無暴なパワーアップという手段を使わずにBB弾を遠くまで飛ばすことができる ●弾速はノーマルに比べ遅くなる場合もある ●タイトな機構であるため、BB弾のバラツキ、気温、湿度の変化が、ホップアップ効果の変動要因となる。

以上のように「遠くへ飛ばす」という大きなメリットと「BB弾・ガス圧といった不安定要素が、(ノーマルガン以上に)性能に影響を及ぼす」というデメリットを併せ持つのがホップアップガンなのです。ホップアップガンの性能を高水準で安定させるにはデメリットを最小限にすれば良いわけで、それにはいくつかの条件を満たす必要があります。



**PERFECT BB**

【超精密BB弾】

このマークが目印!

※KSCのホップアップ搭載銃はすべてKSCパーフェクトBB弾に合わせて設計し、同BB弾によって最も性能が発揮できるよう調整されています。銃性能を生かす意味からもKSCパーフェクトBB弾をお使いください。なお、当製品の場合、25度をこえるような環境下では0.25g弾、それ以下では0.2g弾の使用が命中精度の点では有効です。(0.2g弾=4,000発入り¥1,000、0.25g弾=3,000発入り¥1,000)



### 注意

## 《ホップアップ性能安定の条件》

### ①BB弾を選ぶ。

同一種のBB弾で、真球度が高く、径にバラツキのないものを選び、同時に汚れ・キズ・変形等がないことをチェックのうえ使用する。なお、0.2~0.25g弾の使用がもっとも効果的(軽量弾はバラツキ等の影響が顕著に表れ弾道が安定せず、重量弾だと距離が伸びない)。

### ②パワー(ガス圧)を極力一定に保つ。

ポンペやマガジンの使用時の温度が一定(保管時も同様)であることが望ましい。使用の際は替えマガジンなどを用意し、使用済みマガジンは休ませてガス圧の回復を図るといった方法もデメリットを最小限にするにはベター。

### ③ラバーチェンバー、銃身内部の状態を同一条件下に維持する。

オイルのつきすぎ、不良BB弾の使用やホップのかけすぎによる弾つまり等に起因するキズ、摩耗した部品の使用などもマイナス要因となる。メンテナンス時の注油は微量多頻度で行ない(17ページ参照)条件を安定させる意味から常に注油量を一定にする、ラバーチェンバー・インナーバル内のオイルや汚れを定期的にクリーニングする、BB弾・ラバーチェンバーやインナーバルにキズ・摩耗がある場合は早めに取り換える、といった配慮が必要。

### ④大気の状態が安定している

いうまでもなく無風が望ましい。気温差も上記②に関連してホップのかかりぐあいに影響をおよぼすので配慮が必要。

※以上の4条件を満たせばその銃が持つホップアップ性能を100%引き出せる訳ですが、シューティングを楽しみながら、それらの微細な条件を常に高レベルでクリアすることは現実的には困難です。そこで考え方としては、80~90%の性能レベルを維持しつつホップアップを楽しむ、具体的にいえば10発中1発前後の弾道の乱れなら(もともと条件をクリアしていないのですから)許容範囲と考え割り切って楽しむ、というのが一般的のようです。では、ホップアップの現況説明はこれくらいにして、本製品のホップアップに関して説明してゆきましょう。

使用前

マナー

操作

ホップ

手入れ

分解

保管他

パーツ

アクセ

故障?

アフター

通販

実銃

# ホップアップメカニズム II



## 【調整と試射】

★ホップアップ調整には20m以上の空間が必要です。

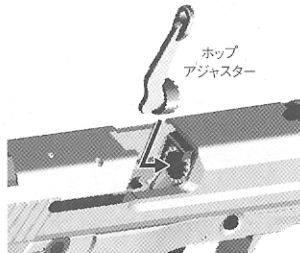
**1** まず、銃を撃ってみます（操作の頂参照）。ホップのかかり具合が希望どおりの弾道を描いているかどうかをチェックします。この時、10～12発撃ち平均的な弾道やグルーピングにより判断してください（2～3発ではデータとして不十分です。判断を誤る可能性があります）。

**2** マガジンを抜きスライドを作業しやすいところまで後退させ、エジェクションポートからホップアジャスターを差し込み、アジャストリングの歯車状の突起の凸凹とアジャスターの凸凹が全周ともきれいに噛み合うように装着します。

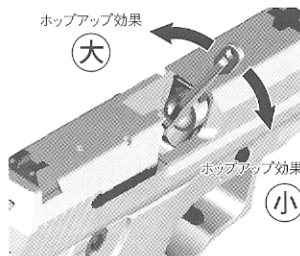
**3** 試射の結果、ホップのかかりが弱い時は左回転、強い時は右回転させ、ホップ調整をしてください。この時、アジャストリングとアジャスターの全周の凸凹がきれいに噛み合い、かつ密着していることを確かめた上で操作してください。

### 注意

●歯車状突起が全周きれいに噛み合っていない時や密着していない時などのように正常装着でない場合、アウターバレルやその他の部品に変形やキズを付けてしまう可能性があります。十分注意して操作してください。



アジャスターの中心軸と、ラバーチェンバーとアジャストリングの中心軸が同一線上になります。



調整は左右合計100度位の範囲内で可能（回し過ぎ注意）。アウターバレル薬室部入口上部の内曲面に、ホップアジャスターの円筒部上面を密着させ、それをガイドにして回すと正しく回せます。

## ★調整のポイント

ホップ効果	BB弾の弾道現象	改善方法 (アジャストリングの調整)
無効	自重による自然放物落下	さらに左へ
小	水平飛行距離が自然放物落下よりはのびる	少し左へ
適	水平飛行距離が最長に	そのまま
大	水平飛行から上昇に移り、最後に放物弧で落下 (この現象の直前状態が最適なチューニング)	少し右へ
かけすぎ	極端なホップ、極端なドロップ、停弾、発射サイクルのバラツキ等が起きる	さらに右へ

**4** 調整→試射→調整と、以後、希望の弾道が得られるまでくりかえします。

### 注意

●「調整のポイント」の表の『かけすぎ』の現象が起きた場合は、すみやかに射撃を中止し改善方法を実行してください（ラバーチェンバーをはじめ銃の摩耗・破損をはやめることになります） ●弾づまりの時はアジャストリングをホップ効果がきかない所まで戻し、その上でBB弾を取り去ってください（かけすぎの状態つまりラバーチェンバー内が狭いため停弾したわけですから、この状態で強引にBB弾を抜き取るうと確実にラバーチェンバーを痛めてしまいます） ●誤った調整方法・分解・改造による故障・事故等については当社では一切の責任を負いません。また、その結果として生じた修理・調整費用はすべて有料となります



# メインテナンス (手入れ)



## 警告

●手入れを怠ると、たとえ買ったばかりの品でも作動不調をおこします。最終的には銃の耐久性にも影響しますので、こまめに行なってください ●メインテナンス中に工具類でケガをしないようご注意ください



## 注意

### 《使用前点検》

何度も使っているうちにピン類が出てきたりスクリュー類がゆるんできたりすることがあります。弾が飛ばなくなる・閉鎖不良が起きるといった不調症状が表れ、故障・部品紛失の要因となりますので定期的にチェックしましょう。特にブリーチスクリュー (パーツリスト参照) は、ガスブロウバック時の振動により、ゆるみやすい傾向にあります。使用前に必ずチェックし、ゆるんでいる場合は「増し締め」してください。(『ネジロック』などのゆるみ止め剤を少量つけ固定する方法もあります。使用の際はその商品の使用方法・注意書をよく読んでからお使いください。)

※上記スクリュー類がゆるみはじめると、BB弾がポロツとしか飛ばなくなる、弾道がバラつく、BB弾の送り込みが悪くなる、スライドの閉鎖不良が起きる、ブロウバックのスピード低下、などの不調症状が生じます。そのまま使い続けると症状は悪化し、さらには関連部品の破損につながりますので、異状に気付いた時にはすみやかに点検し改善してください。なお、ガス切れ/ガスの冷えすぎた時にも同症状が表れますので、そちらもチェックしてください(6~7ページ参照)。



## 注意

### 《使用オイルについての注意》

オイルはプラスチック用で「第4石油類」と明記されたテフロン系/シリコン系のものをお使いください。以上の表示がないものは絶対使わないでください。モデルガン/エアガンで使用されているゴム類や各種プラスチックのなかのある種の材質を侵してしまうものがあることが、当社の実験結果で確認されています。なかでも第2石油類のタイプ、金属用オイル(マシン油、モーターオイル、CRC556などのスプレー潤滑油、錆が汚れ落としなど)は、100%といって良いほどヒビ割れなどの劣化の原因となります(○石油類の表示のないものも、内容成分が不明であることからお使いにならないほうが無難でしょう)。少なくともKSCガンオイルは、大半の他社製品を含め現時点でモデルガン/エアガンに使用されているほとんどのプラスチック材料をテストし異常のないことを確認済みです。安心してお使いください

## 【マガジン】

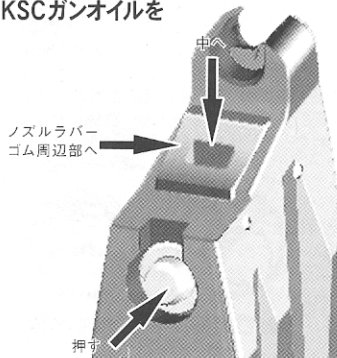
マガジン後部の放出バルブを押すと、ガスを抜くことができます。つねにガス圧がかかった状態ですとシールドをしているゴム類に負担がかかり、劣化を早めることとなりますので、発射後は、残ったガスを必ず抜いておきましょう。さらに、BB弾が入ったままですとフォアースプリングの「へたり」が早くなってしまいます。BB弾も抜いておいてください。



## 警告

ガス放出時は、液状ガスが手や顔などに吹きかからないよう放出口の向きに注意してください。もちろん他の人や動・植物、電気製品、凍ると破損のものに対しても同様です。瞬時の冷却・凍結による凍傷・故障の原因となり危険です。

## KSCガンオイルを



放出バルブを押した状態で、ノズルラバーの放出口からマガジン内部へKSCガンオイルを注入してください。また、ノズルラバー上面部や、放出バルブへも注油してください。

※いずれもごく少量でOKです。5~10マガジンくらいを目安に行なってください。

# 分解 (組み立て) |

エアガンは通常の場合、分解の必要はありません。弾づまりやメンテナンスの時以外は分解しないでください。

## 警告

●作業中に工具類や部品 (特にスプリング、ボール類は飛び出してくる可能性があります) でケガをしないよう注意してください ●部品・工具・メンテナンス用具は、たとえ1個でも子供の届くところには放置しないでください。ケガや、誤って飲み込んでしまい窒息するなどといった重大な事故につながる可能性があります ●分解・組み立ての際は部品をなくさないよう注意してください ●無理な分解 (組み立て) や、当説明書に説明している以外の方法は、組み違いによる誤動作・部品の破損・変形につながりますので、やめてください

## 【フィールドストリップ (通常分解)】

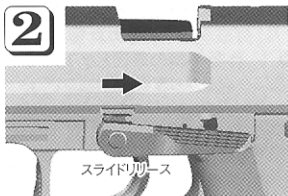
### 〈組み立てる時は〉

基本的に分解の逆手順 (項目番号の大きい数字から小さいほうへ逆行) で行なってください。

1

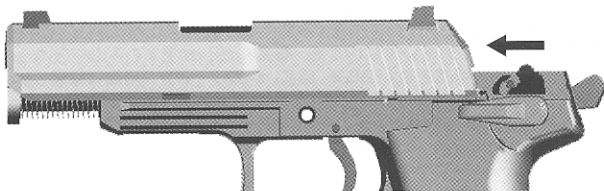
マガジンを抜き、スライドを引いて薬室に残弾がないことを確認してください。

2



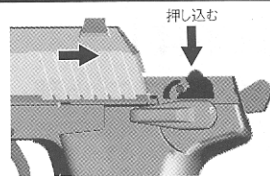
スライドリリース

スライド左側面中央底部の切り欠きをスライドリリース軸部に合わせると、リリースの内部突起部が見えます。この状態で逆側 (銃右側面) からリリースのシャフトを押せば、スライドリリースが左側にはずせます。次にスライドアッシーを前方に引き抜いてください。

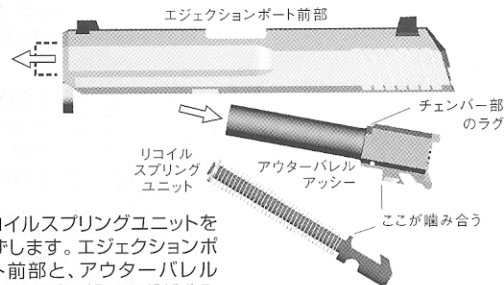


### 組み立て

スライドとフレームのレール部を合わせて組み込みます。スライドを入れてゆくとディスクネクターとロックプレートに当たりますので指で押し込みながら行なってください。



3



リコイルスプリングユニットをはずします。エジェクションポート前部と、アウターバレルのチェンバー部のラグが噛み合っていないようにし、そのうえでバレルを少し前にずらしてピストンとの関係はずし、斜め下後方に抜いてください。

★これで通常分解終了です。これ以上は、破損パーツ交換時以外は分解する必要はありません。

### 組み立て

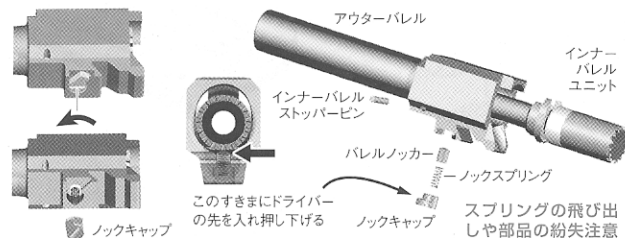
スライドにアウターバレルアッシーを装着します。スライド銃身用穴にバレルを通し、チェンバーのラグとエジェクションポートが噛み合う位置までバレルを後退させてください。次にリコイルスプリングユニットの先端をスライド前面の穴に入れ、全体を少し前に移動するようにすると、バレル下部と噛み合います。

※一連の作業は銃を逆さにしたほうがラクです。

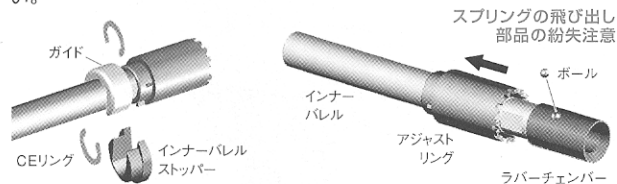
## 【バレルの分解】

★バレル交換時のみ行なってください（交換時以外は分解の必要はなく、難易度が高いためお勧めしません）。

バレル下部のノックキャップを45度回し、精密ドライバー（-）の先をアウターバレルとバレルノックの間に入れ押し下げ、キャップ、スプリング、バレルノッカーをはずします。次にインナーバレルストッパーピンを抜きインナーバレルユニットを後方に抜き出してください。



インナーバレルストッパーとCEリングをはずし、アジャストリングと同ガイドを前方へずらします。ラバーチェンバーは後方へ、はずしてください。



《組み立て時の注意》上記手順を逆行行なってゆきますが、以下のパーツは向きがありますのでまちがえないようにしてください。



ラバーチェンバー内側下部の突起をインナーバレル下部のミゾに合わせ、上図のミゾにチェンバー前部をはめこむ。

ボールをラバーチェンバー上部のへこみにのせたら、アジャストリング前方の段差の下部にある突起がボールと反対方向（＝下方）になるようにして、ラバーチェンバーにかぶせてゆきます。

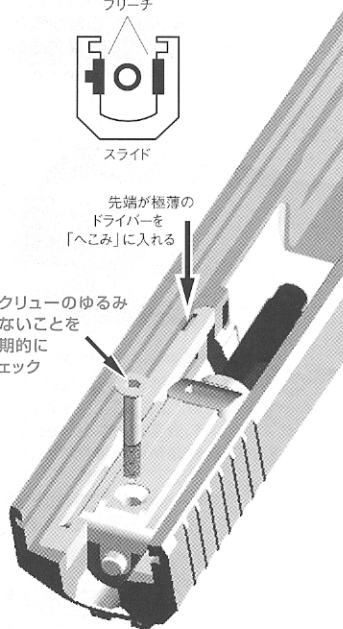


## 【ブリーチスクリューの増し締め】



先端が極薄のドライバーを「へこみ」に入れる

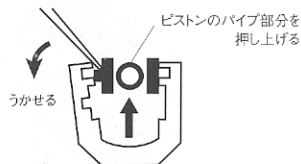
スクリューのゆるみがないことを定期的にチェック



★ブリーチスクリューがゆるみ、不調となった場合を考え、記しておきます。

まず、2.5mmの六角レンチでブリーチフィクスクリューを抜き取ります。ブリーチは下から見て左側前方部分がスライド内側の溝にはまりこんでいるため、外側へスライド内壁を上げなければ外せません。そこで、ブリーチ先端部のへこみに、先が薄いマイナスドライバーを差し込み、先端を支点にしてゆっくり上げてゆくと、ブリーチが浮き上がってきます。あとはユニット全体をつまみ出してください。

次にブリーチからファイアリンピン等を取り出し、その奥にセットされているブリーチスクリューを増し締めします。（ネジロックなどのゆるみ止め剤をつけて組み立てておくと、分解しない限りゆるみませんので増し締めの必要はありません。）



力を入れすぎないように注意

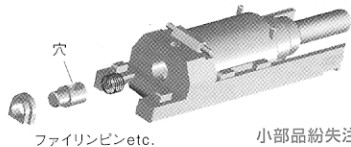
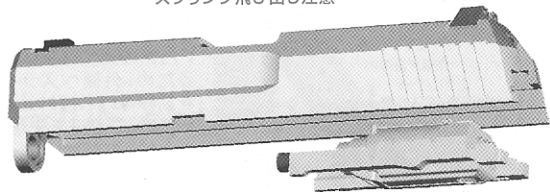
使用前  
マナー  
操作  
ホップ  
手入れ  
分解  
保管他  
パーツ  
アクセ  
故障？  
アフター  
通販  
実銃

# 分解（組み立て）II

無理な分解・組み立ては、破損・ケガの原因になります  
 細心の注意をはらって行ってください

組み立ては、ブリーチの先端部が両方とも内側に曲がっていないかチェックしたうえで行ないます。ファイリンピンなど小部品を組み込んだうえで、ブリーチ全体をパチンと音がするまで押し込んでください。組み入れたらシリンダーのガス注入口に指先をあて、シリンダーの前後動が正常か確かめます。動きが渋い時はブリーチ先端部がまだ内側へ曲っている場合もありますので、外側へわずかに拡げてみてください。ただし拡げすぎないように注意してください。

スプリング飛び出し注意



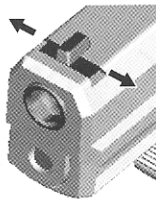
スクリューを入れる時はファイリンピンの穴を通す

小部品紛失注意

注意：フレーム側（特にコントロールレバー&ハンマーユニット部）の分解・組立は、非常に難度が高く、お勧めできません。不調時は当社アフターサービス部に修理依頼をしてください。

## フロントサイトの左右微調整

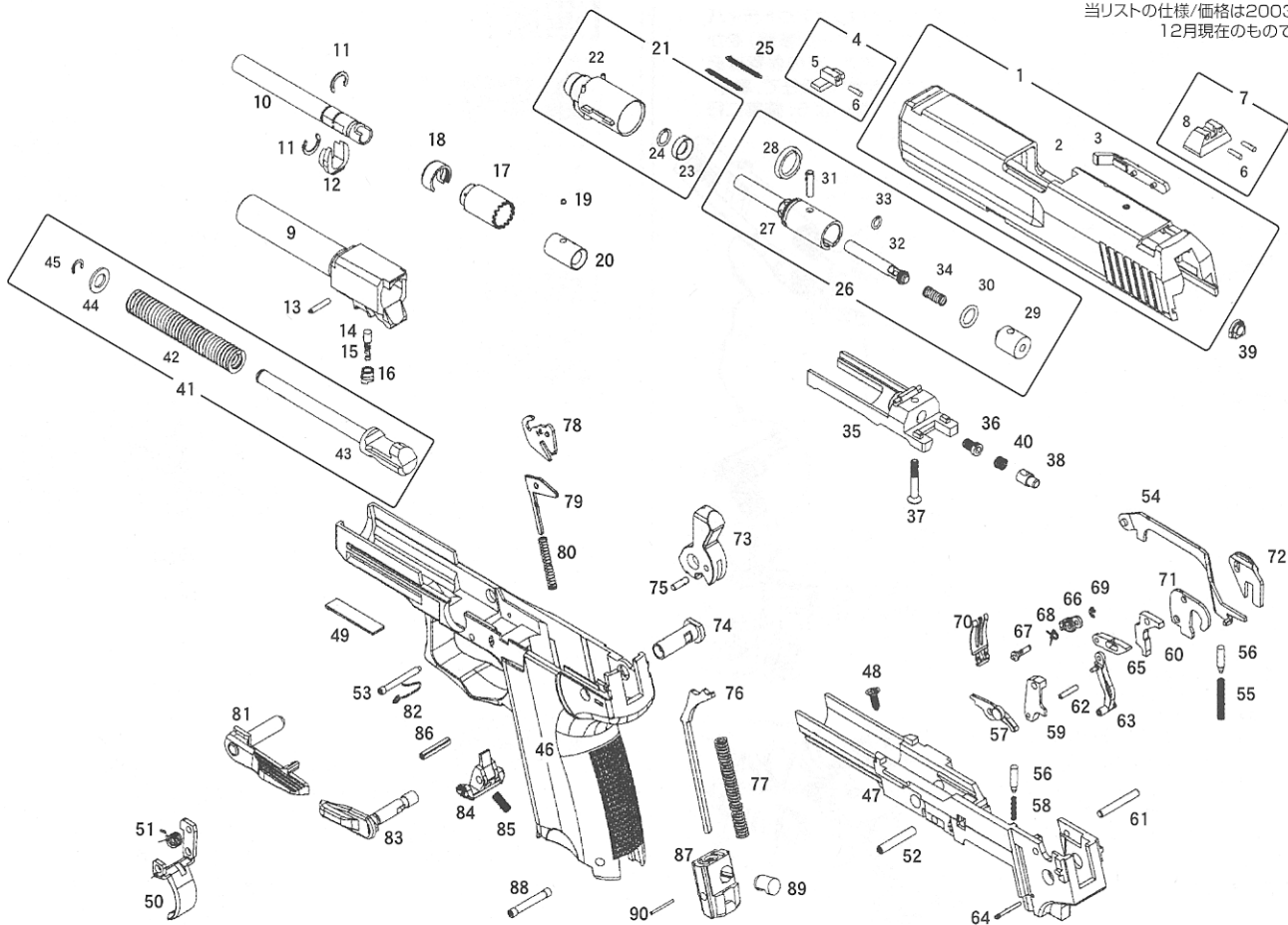
フロントサイトはウィンデージ（横方向）のみ微調整が可能です。ただし「フィクスト（固定）サイト」のジャンル内のものである事には変わりはありませんので、頻繁な微調整作業をくり返すと次第にガタツキが生じ脱落しやすくなってきます。調整は必要最小限にとどめてください。調整は横からプラ製のロッド状の物をあて、ハンマーで軽く叩いて行ないます。





# パーツリスト I

当リストの仕様/価格は2003年  
12月現在のものです。

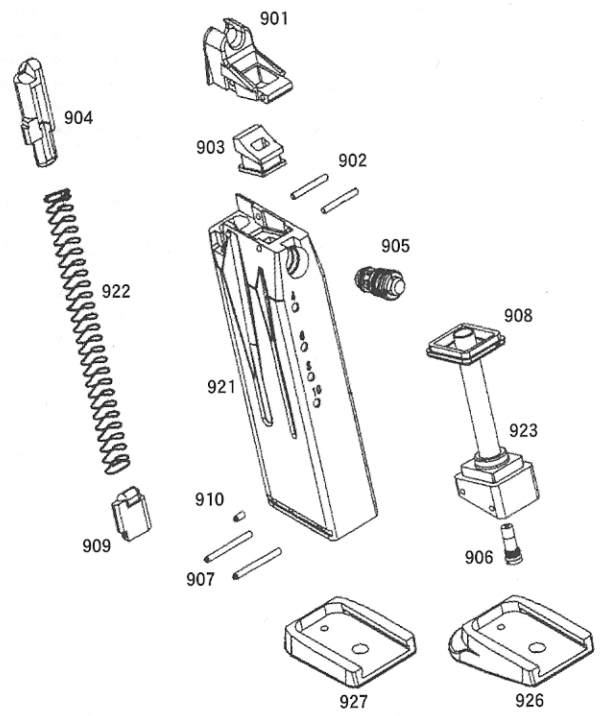


# パーツリスト II & アクセサリー

80	スライドプレートスプリング	¥	200
81	スライドリリース	¥	600
82	スライドリリーススプリング	¥	150
83	コントロールレバー	¥	600
84	マガジンリリース	¥	400
85	マガジンリリーススプリング	¥	100
86	マガジンリリースピン	(SP-Lφ3×16)	¥ 100
87	ランヤードループC	¥	400
88	ランヤードループピン	¥	200
89	ロックアウトデバイス	¥	200
90	ロックアウトスプリング	¥	100

## ■ マガジン

901	マガジンリップ	¥	700
902	マガジンリップピン(×2)	1コ	¥ 50
903	ノズルラバー	¥	300
904	マガジンフォロアー	¥	300
905	放出バルブ	¥	800
906	注入バルブ	¥	300
907	マガジンインナーベースピン(×2)	1コ	¥ 50
908	マガジンシール	(G17)	¥ 200
909	マガジンベースロック	¥	300
910	マガジンベースロックピン	¥	50
921	コンパクトマガジンケース	¥	2,500
922	マガジンフォロアースプリングC	(G19)	¥ 400
923	マガジンインナーベースセットC	¥	800
[924 マガジンインナーベース、925 マガジンインナーパイプCのセット]			
926	エクステンデットマガジンベース	¥	500
927	コンパクトマガジンベース	¥	400



## ■ シューティングツール

996	ロックアウトキー	¥	300
997	ローダーロッド	¥	300
998	ローダーパイプ	¥	500
999	ローダーファネル	¥	300
U500	ホップアジャスター	¥	400